

令和7年度全国学力・学習状況調査 新十津川町内の状況及び今後の改善方策

小学校数:1校、児童数:46人 中学校数:1校、生徒数:49人

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

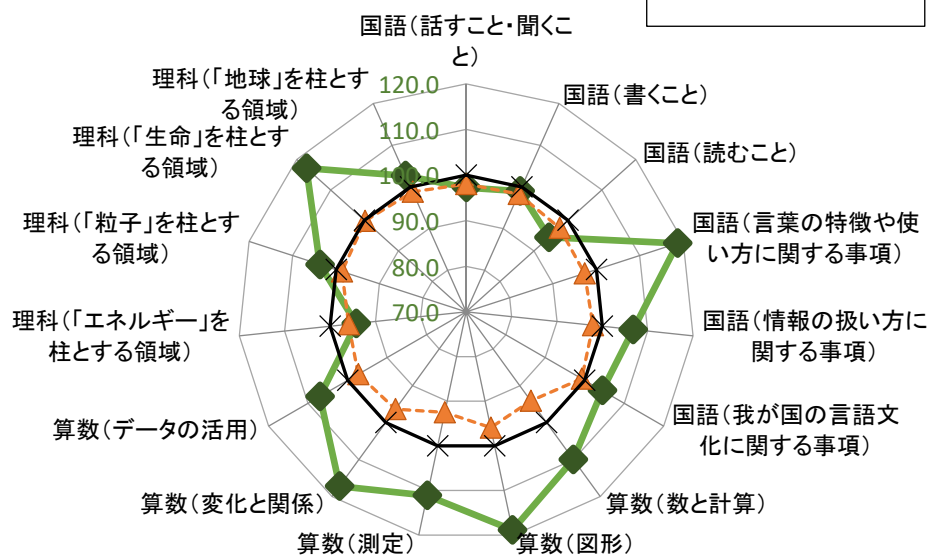
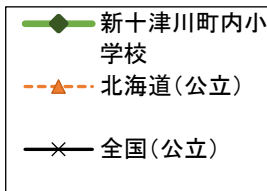
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

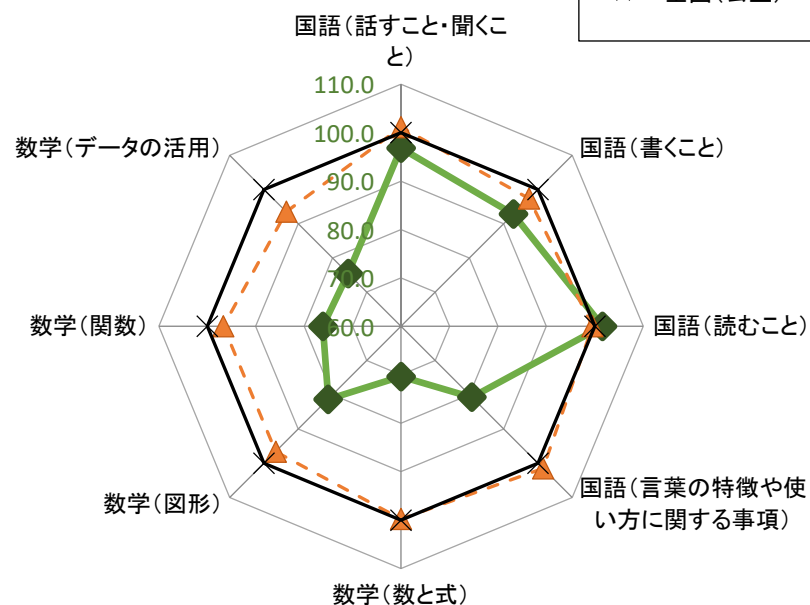
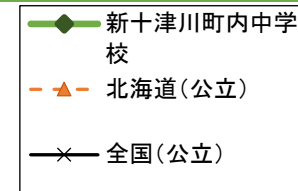
※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
新十津川町	68	65	60	51	36	490
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

小学校



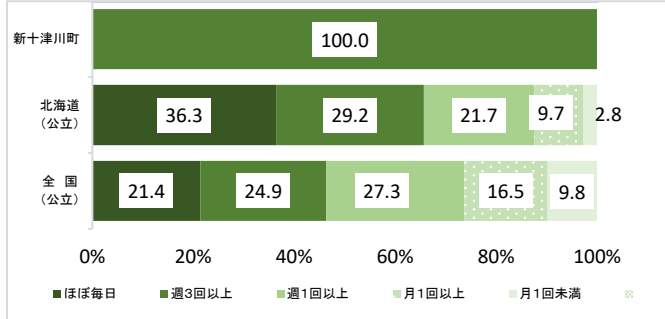
中学校



○ 質問調査の状況

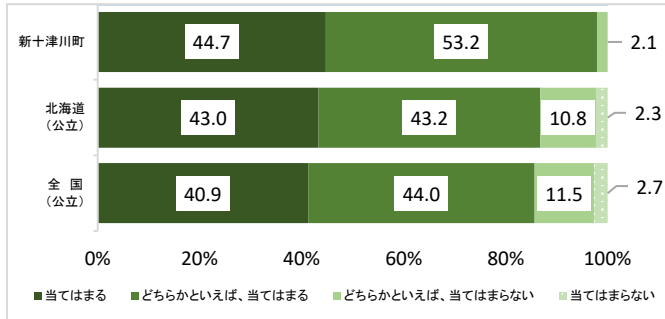
小学校
＜学校質問＞

児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



小学校
＜児童質問＞

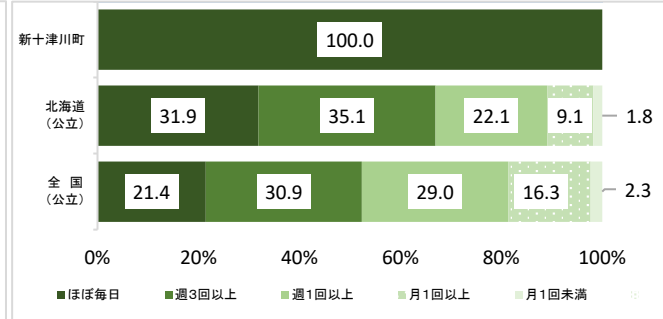
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



小学校

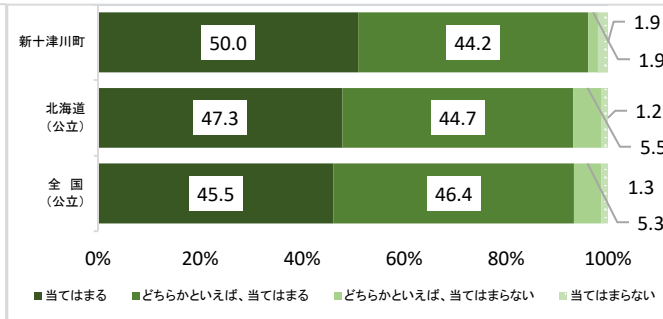
中学校
＜学校質問＞

生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



中学校
＜生徒質問＞

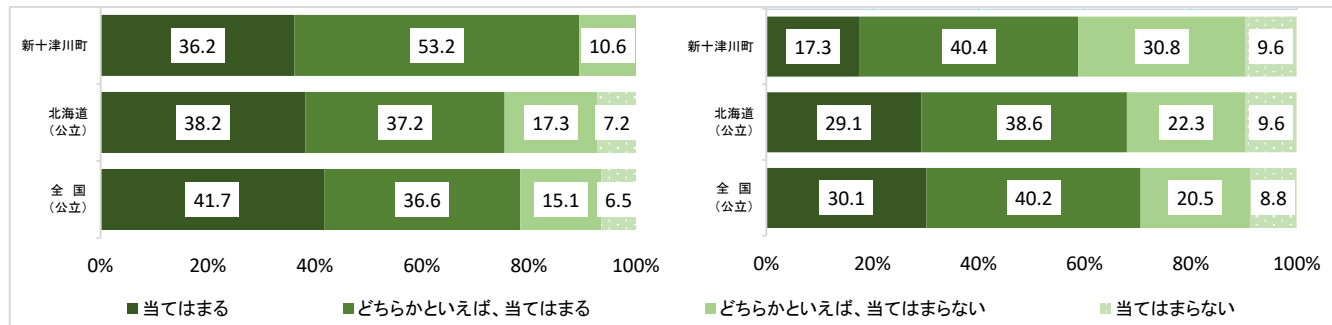
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



中学校

＜児童生徒質問＞

算数[数学]の授業の内容はよく分かりますか



○ 調査結果の分析

・ 小学校において、児童同士がやりとりする場面で、児童に配備されたタブレットなどのICT機器を週3回以上、中学校はほぼ毎日使用している。使用頻度は、全国及び全道を上回っている。

・ 上記の結果のとおり小・中学校において、児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、配備されたタブレット端末を日常的に活用されている。また、授業や学校生活では、友だちや周りの人の新たな考えに気づいたり、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると回答した児童生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。

・ 中学校数学の平均正答率が全国及び全道を下回っている。また、数学の授業の内容はよく分かる(どちらかと言えばよく分かるも含む)と回答した生徒の割合も全国と比較して10ポイント程度低かった。

○ 今後の改善方策

・ 児童生徒の理解度等に応じた、一人一人の資質・能力を確実に育成するための授業改善

・ タブレット端末の活用も含めた家庭学習の習慣化を図る取組の推進

・ 「学習指導」と「生活指導」の両面から、児童生徒一人ひとりの生活状況の把握及び生活習慣の改善を通じた学習習慣の改善